

ヨシノコブガ

7月にクリの雄花につく小さな毛虫（幼虫）。最大長約10mm。多発すると葉も食害する。

牧草が生えているクリ園で多発するとされる。北海道では1995年に多発が初めて観察された。



1. 幼虫，体長6mm。1995/8/1。新冠町，クリ。

【学名】 *Meganola melanocholica*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， コブガ科 (Nolidae)

【生態】

クリの雄花を食べる。

本州ではたいてい年1世代。成虫は春に発生し、雄花の蕾に産卵する。幼虫は雄花を食べて成長する。夏には地上に落下し、落葉中で繭を作り、その中で蛹になって越冬する。

北海道では幼虫の食害が日高地方で8月上旬に観察されている。

【被害と防除】

多発は日高地方のクリ園で1995年に観察されているにすぎない（写真）。

林床に牧草が繁茂したクリ園で多発するようなので、牧草を除去して予防する。

【文献】

*1996. 伊藤賢介，福山研二，東浦康友，原秀穂. 1995年に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業, 48: 187-190. (道内での最初の被害記録)

*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます。

ヨシノコブガ taigarui/yosinoko/

kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/9/29.

yochu.jpg

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1995.